

**IA + CMS = 情報を貯めて勝つ
ためのアプローチとライフハック**

2009-8-27

楽天株式会社 編成部

Web解析・最適化エバンジェリスト

清水 誠

自己紹介

1. Webの制作・運用を15年

Usability→IA→CMS→最適化(SEO・解析)

2. Webマーケティングにフォーカス

宣伝→販促→EC

3. コンサルタントではなく実践者

組織の中で標準化を推進中 (2004～)

Web
STRATEGY

Web 担当者
Forum



文部科学省ホームページアドバイザー委員

セミナー概要より

誰もが大量の情報を受信・編集・送信するIT時代にも関わらず、
ハコとしての「テクノロジー」のみが注目され、

中身

変化

それ

企業

情報

(CMS/ECM)の取組から実践を呈示してきた経験をもとに、

戦略的なコンテンツ管理の進め方からソリューションの選定・活用方法、

情報リテラシーと仕事術まで、

組織や個人が情報を貯めて勝つために必要な考え方とアプローチを

具体的に紹介します。

- 1.マーケティング系Webコンテンツと
技術ドキュメントの違いは？**
- 2.WebのCMSをどうすべきか？
(位置づけ・活用方法)**

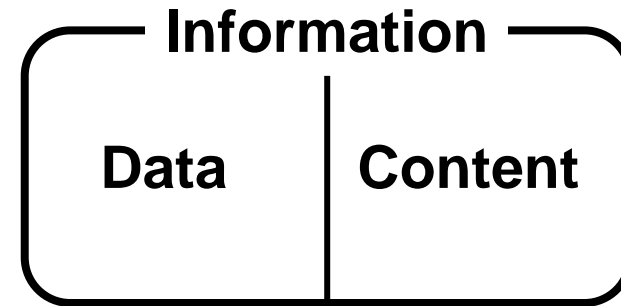
データと比べたコンテンツの特徴

■ 人が人に伝えるためのもの

- 80%は非構造型

■ 生き物である

- コンテキスト(相手・目的・時期)によって変化
→ 伝えるために編集を加え続ける



**編集や再利用の結果、
バリエーションが増えていく**

コンテンツとは？

CMS \neq WCM (Web CMS)

- **企業は何のコンテンツを管理すべきか？**
 - 公開コンテンツ (Web・印刷物)
 - 社内ドキュメント (イントラネット・Fileサーバ)

**Content
Management
System**

\neq

**Web
Content
Management**

Webコンテンツは一部でしかない

■ 公開コンテンツ(Web・印刷物)

- Webコンテンツは複雑度と量が膨大化
 - 制作現場には多くのプレッシャー
 - WCMが便利らしい、と導入が進行中
- 印刷物は時間とお金がかかる
 - 柔らかいマーケティング系はまだ手作業
 - 堅い技術ドキュメントは構造管理が先行？

社内コンテンツこそ管理が必要

■ 社内ドキュメント(イントラ・ファイルサーバ)

- 社員の生産性や製品の品質に直結

にも関わらず

- IT部門が現場を無視してハコのみ導入・管理
- 中身はカオス状態 → 重複・散在・埋没

イントラネットへのWCM導入
が最近進んでいる

ただし、WCMのみでは不十分

汎用コンテンツの一元管理がゴール

- **中身(コンテンツ)に目を向ける**
 - 社内ドキュメントやDTPとの連携を視野に
→ 抽出・再利用しやすい形で管理しておく
- **Web制作者にとってはデフレ打破のカギ**
 - インタラクションデザイナーから
コンテンツのアーキテクトへ

Agenda

1. **コンテンツを貯めて勝つ**
2. **個人が実践すべきCMS+IA**
3. **コンテンツとプロセスを育てて保つ**
4. **CMS導入の実際**
5. **まとめ**

1. コンテンツを貯めて勝つ

勝ち組企業はコンテンツを貯めて優位性を確立

Amazon: レビュー、レコメン、ほしい物リスト、
アフィリエイト記事

ヤフオク: 評価数、評価コメント

価格.com: 価格情報、コメント、評価

Google: 世界のコンテンツをインデックス化

継続的に集める／集まる
仕組みを持っている

1. コンテンツを貯めて勝つ

にも関わらず...

- **コンテンツは不当な待遇を受けている。**
 - 構造だけ作り、コンテンツはクライアント提供
 - 運用は新人が担当／社外に丸投げ
 - 公開後は放置、リンク切れに気がつかない
 - 原稿が見つからず、無駄に作り直す
 - データベースからの抽出に1週間かかる

1. コンテンツを貯めて勝つ

では、どうすれば良いか？

- **必要なのは技術の導入ではない**

個人は

情報整理 (CM+IA) スキルを伸ばす

組織は

コンテンツ管理の体制を構築する

Agenda

1. コンテンツを貯めて勝つ
2. 個人が実践すべきCMS+IA
 - ボトルネックは個人
 - ライフハック的ツールを試してみる
3. コンテンツとプロセスを育てて保つ
4. CMS導入の実際
5. まとめ

2. 個人が実践すべきCMS+IA

個人のITリテラシーがボトルネックになりがち

- **生産性と情報セキュリティの面で企業に損害**
 - デスクトップがアイコンだらけでPCが重い
 - どれが最新版か分からず、先祖返り
 - 毎日数時間は探すことに費やす
 - 受信簿がパンク、重要メールを見落とした
 - ノートPCにファイルを溜め込み、情報漏洩

現場ではよく起こっているが、
損害が見えないので経営課題にならない

2. 個人が実践すべきCMS+IA

ITリテラシーはレベルが深化しつつある

1. PCスキル

- Office、メール、Webブラウザ

2. 情報整理(IA)スキル

- 分類 (MECEな分類)
- メタデータ (ファイル名)
- 構造化 (粒度、関係性、表現からの分離)

CMS+IAは誰もが
身に着けるべき

3. コンテンツ管理 (CMS) スキル

- 構造化・コンポーネント化
- 一元管理・バージョン管理・チェックIn/Out
- 変換・レンディション・テンプレート

2. 個人が実践すべきCMS+IA

まずはライフハック的ツールを試してみる

- フォルダを捨てた*Gmail*でメールを管理
 - メタデータで管理する*iTunes*で音楽を管理
 - バージョン管理つき*Dropbox*でファイル管理
 - *iPhone*で情報を持ち歩く
 - SNSでコミュニケーションを管理
- **最近のサービスはCMS+IAの概念を反映している**

自然に概念を身につけられる

2. 個人が実践すべきCMS+IA

一度でも体験を

■ 食わず嫌いは機会損失

使わないと情報革命に乗り遅れる

■ 企業として導入するのもオススメ

- メールやイントラネットを *Google Apps* に
- 社内 *Wiki* や *SNS* を導入
- 営業の端末として *iPhone* を導入

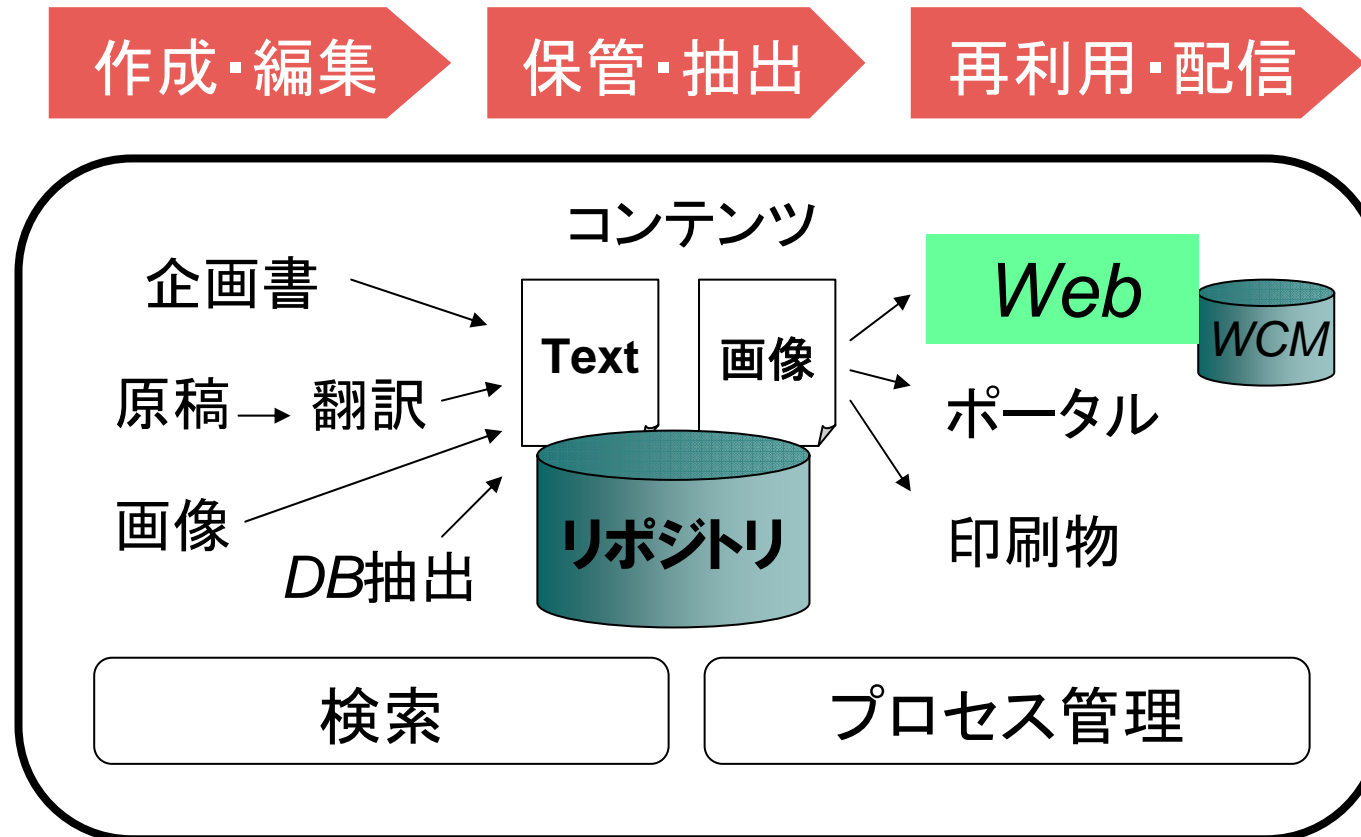
結果として *ITリテラシー* が上がる

Agenda

1. コンテンツを貯めて勝つ
2. 個人が実践すべきCMS+IA
3. コンテンツとプロセスを育てて保つ
 - コンテンツは育てるもの
 - 組織の管理プロセスも徐々に育てる
4. CMS導入の実際
5. まとめ

3. コンテンツとプロセスを育てて保つ

コンテンツは育てるもの



3. コンテンツとプロセスを育てて保つ

引越(リニューアル)は育てるチャンス

- **引越先の収納能力に合わせて量を調節する**
 - 不要なものは捨てる／アーカイブ化(退避)
- **引越日という締め切り(時間の制約)がある**
 - ある程度割り切る大胆さが必要
 - 次の引越しに先送りも
- **終わった後は整理されてキレイに**
 - 忘れていた不要物を捨てられる
 - 価値あるモノは発掘されて利用促進

3. コンテンツとプロセスを育てて保つ

でも、油断していると...

- **あっという間に元の状態に戻ってしまう**
だからこそ
- **クリーンな状態を保つための
プロセス構築と日々の管理が重要**

図書館では、司書が蔵書の入手・
保管・廃棄を行う
店舗でも、商品の棚卸しを行う

→コンテンツも管理が必要

3. コンテンツとプロセスを育てて保つ

管理プロセスも徐々に育てる

- **未体験の新しい業務プロセスは要件定義できない**
 - 想像ベースのRFPIには限界がある
 - 使ってみて分かることも多い

はじめからフェーズ分けして
導入していくと効率が良い

- 例
- CMS導入後も毎月システム改修をする
 - 管理対象を徐々に広げていく
 - ワークフローは後から導入

Agenda

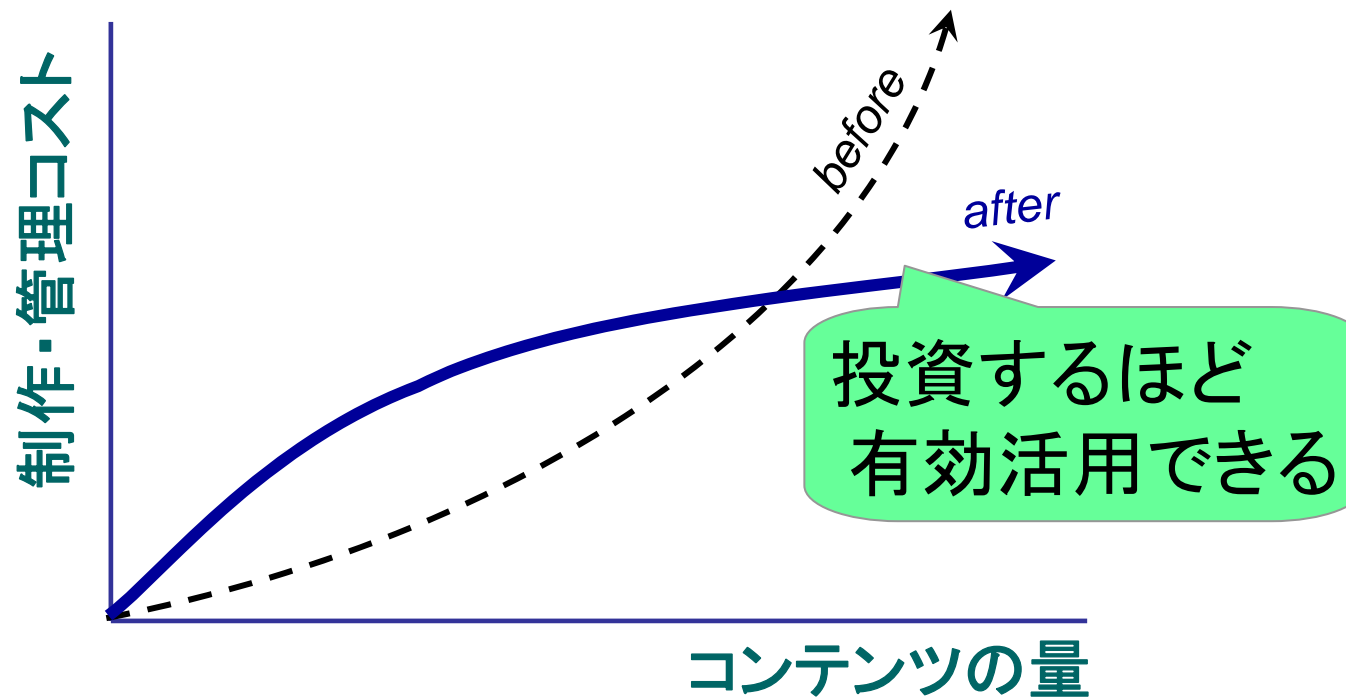
1. コンテンツを貯めて勝つ
2. 個人が実践すべきCMS+IA
3. コンテンツとプロセスを育てて保つ
4. **CMS導入の実際**
5. **まとめ**

4. CMS導入の実際(事例)

事例A. グローバル規模のコンテンツ管理

■ サイトとコンテンツの増加で管理に限界

- 積極的なメディア展開のための先行投資
- コンテンツをライブラリ化し、効率よく使いまわしたい

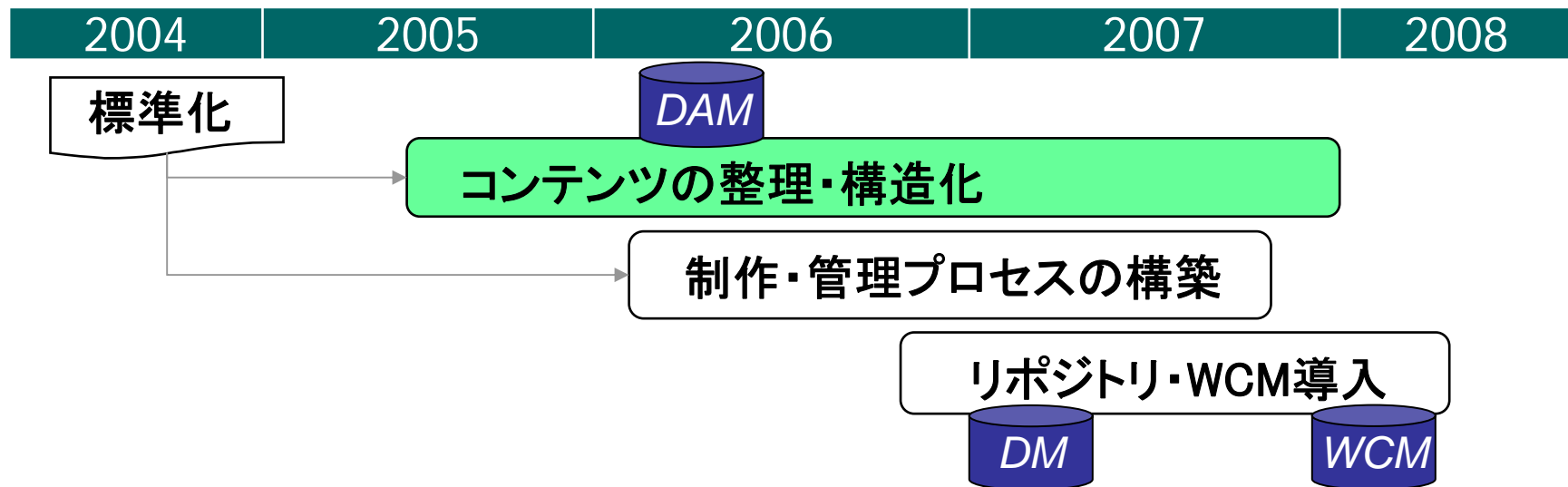


4. CMS導入の実際(事例)

事例A. グローバル規模のコンテンツ管理

■ 進め方

1. まずコンテンツとプロセスを標準化
2. コンテンツを整理・構造化
3. 最後にWCMを導入



4. CMS導入の実際(事例)

事例A. グローバル規模のコンテンツ管理

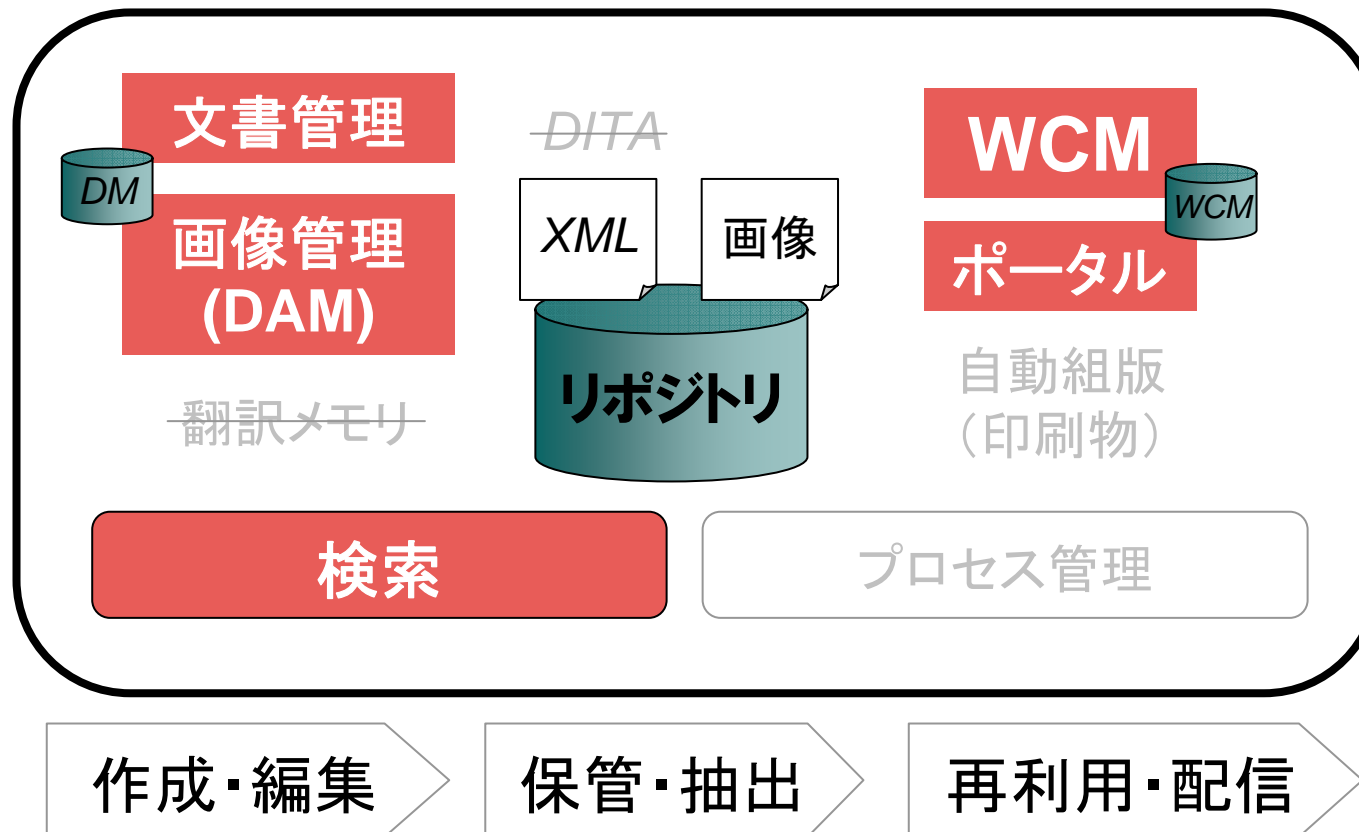
■ 3年かかったコンテンツのアセット化

1. コンテンツ戦略をグローバルで標準化
 - ビジネスニーズと現状をグローバルで調査
 - 共通のタクソノミー(分類体系)を定義
2. 既存コンテンツを収集し精査
 - 内容や利用制限が分からないと使えない
 - 品質やフォーマットが仕様を満たすか？
3. 再加工・再撮影・再入力
 - 製品コンテンツは網羅性が必要

4. CMS導入の実際(事例)

事例A. グローバル規模のコンテンツ管理

■ 導入したシステム

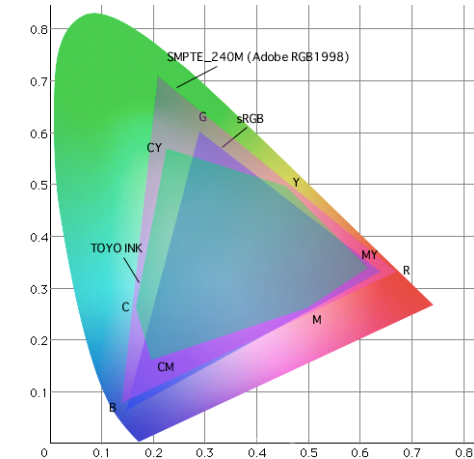


4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

■ 画像の一元管理は比較的カンタン

- 色温度を6,500Kで統一
 - 蛍光灯も色評価用に交換
- 色空間はAdobe RGB
 - メディア展開のため最大限の色域を保持
- レイヤーやパスを保持
 - 製品画像は背景を白くつぶす
- 保存フォーマットはpsd

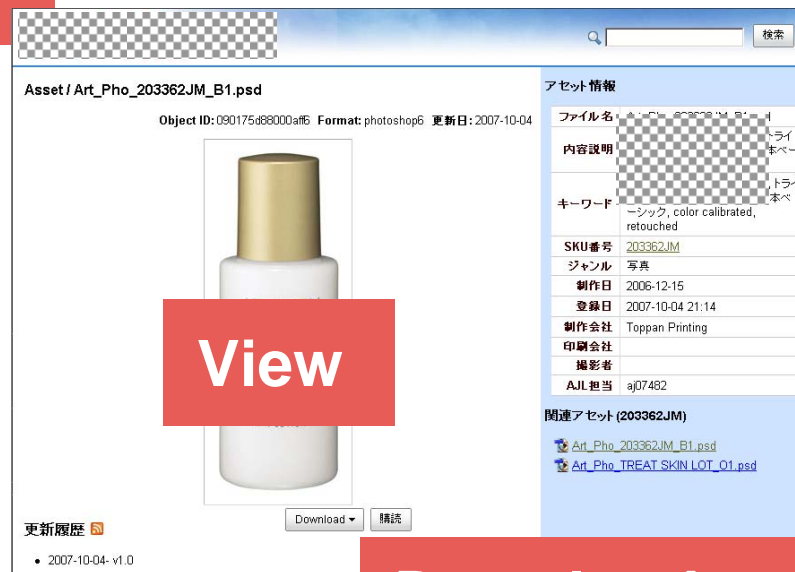


4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

- 再利用可能なコンテンツを共有するポータルも必要

Search

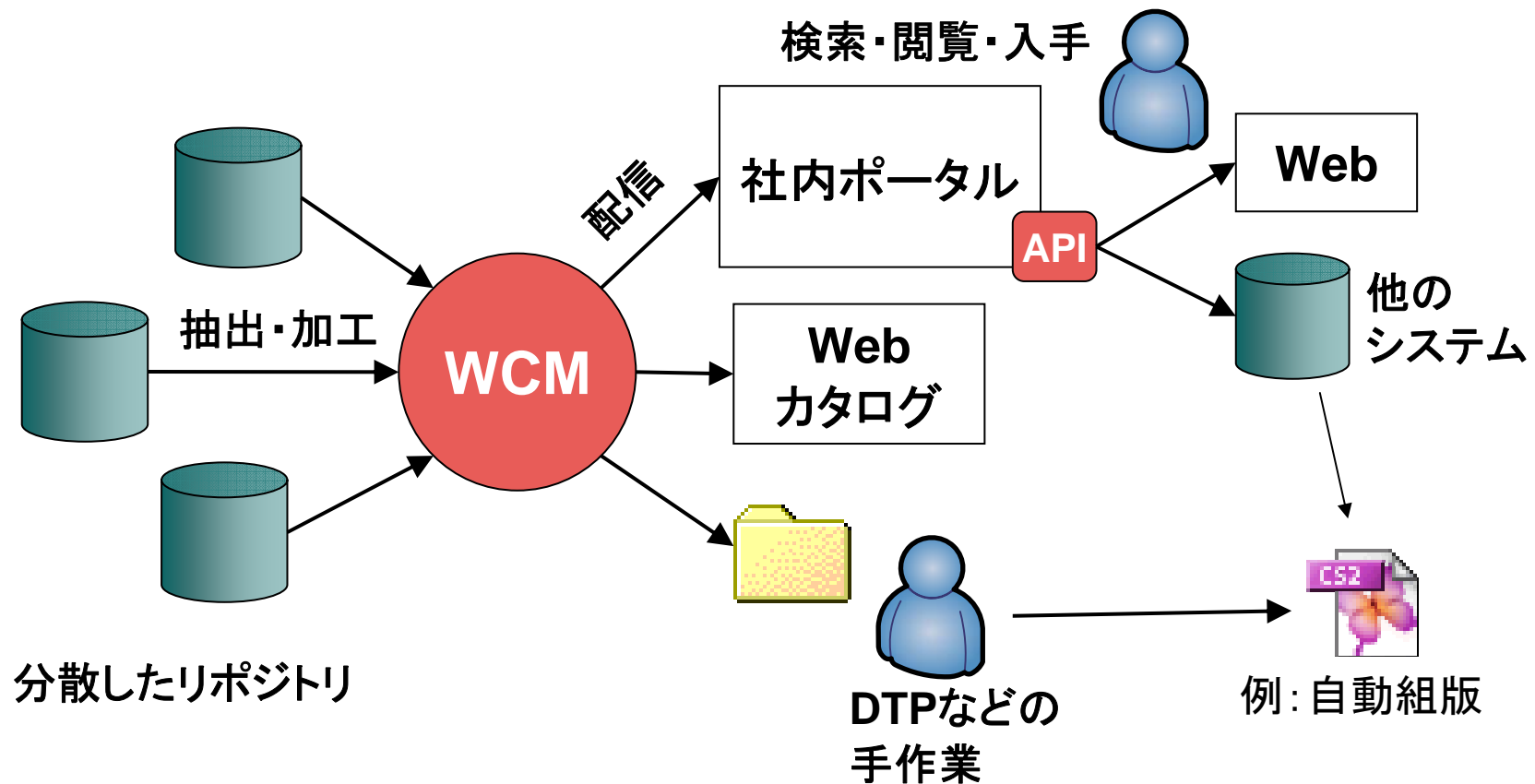


Download

4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

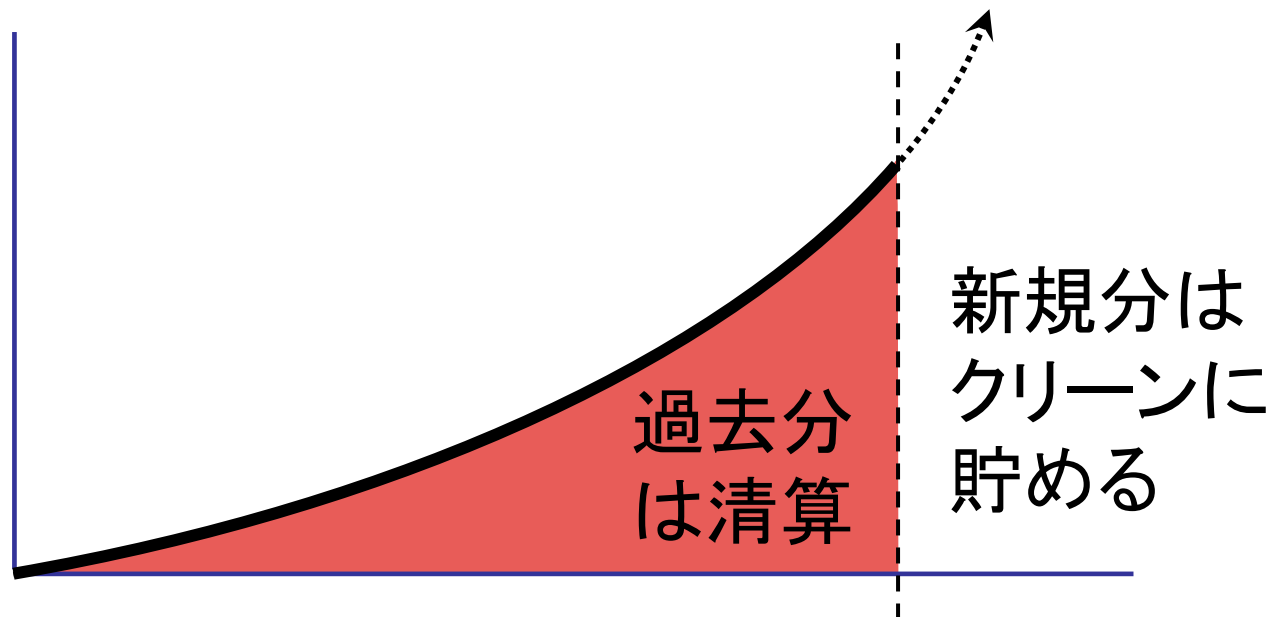
- 一元化できないなら、集約すればいい



4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

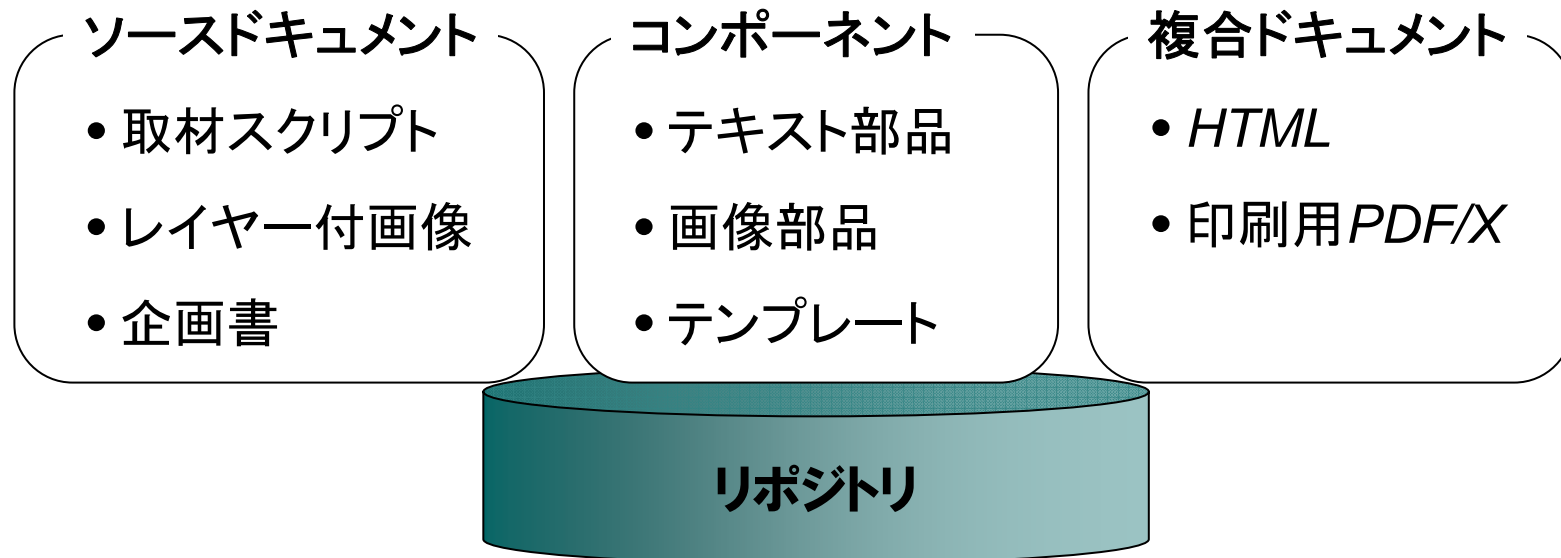
- **コンテンツの整理・構造化は時間がかかる**
 - 今後の追加分をクリーンに貯められるように
 - 過去分は発掘して浄化していけばいい



4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

- コンテンツの整理・構造化は時間がかかる
- **画像や原稿、企画書なども管理が必要**
 - 関連ファイルが無いと再利用しにくい
 - 使える部品を検索できることが重要



4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

- コンテンツの整理・構造化は時間がかかる
- 画像や原稿、企画書なども管理が必要
- **組織体制や評価も見直しが必要**
 - コンテンツを「作る」と「使う」に分けた
 - 管理部門を新設

作るチーム

- コンテンツ部品

使うチーム

- Web
- 印刷物

管理するチーム

- 司書
- システム管理
- 評価・監査

4. CMS導入の実際(事例)

事例B. 超大規模サイトのWCM導入

- **制作の内製化とコスト削減のため、WCMに期待**
- **精査したところ、10万ページを超えることが判明**
- **新規追加が中心、変更や再利用は稀**



1. **全ページCMS化する必要はなかった**
 - **更新頻度やアクセス数で数万ページを選定**
2. **1年かけて、段階的に移行を実施**

4. CMS導入の実際(事例)

Lessons Learned

- **過去コンテンツの整理をプロジェクト目的に入れる**
 - まとまった時間と予算がないと不可能
 - 過去の遺物ではなく大切な資産として扱う
- **リニューアル後もクリーンさを保つ工夫が必要**
 - CMS運用チームを常駐させることに
 - 過去分は期限切れさせて時間に解決させる

Agenda

1. **コンテンツを貯めて勝つ**
2. **個人が実践すべきCMS+IA**
3. **コンテンツとプロセスを育てて保つ**
4. **CMS導入の実際**
5. **まとめ**

5. まとめ

コンテンツは育てつつ貯めて、保つ

- **コンテンツは、状況を把握(棚卸)し、投資した資産として大切に管理(定義・選別・構造化・リポジトリ保管)すべき**

現場のカイゼンやコスト削減以上の意義がある

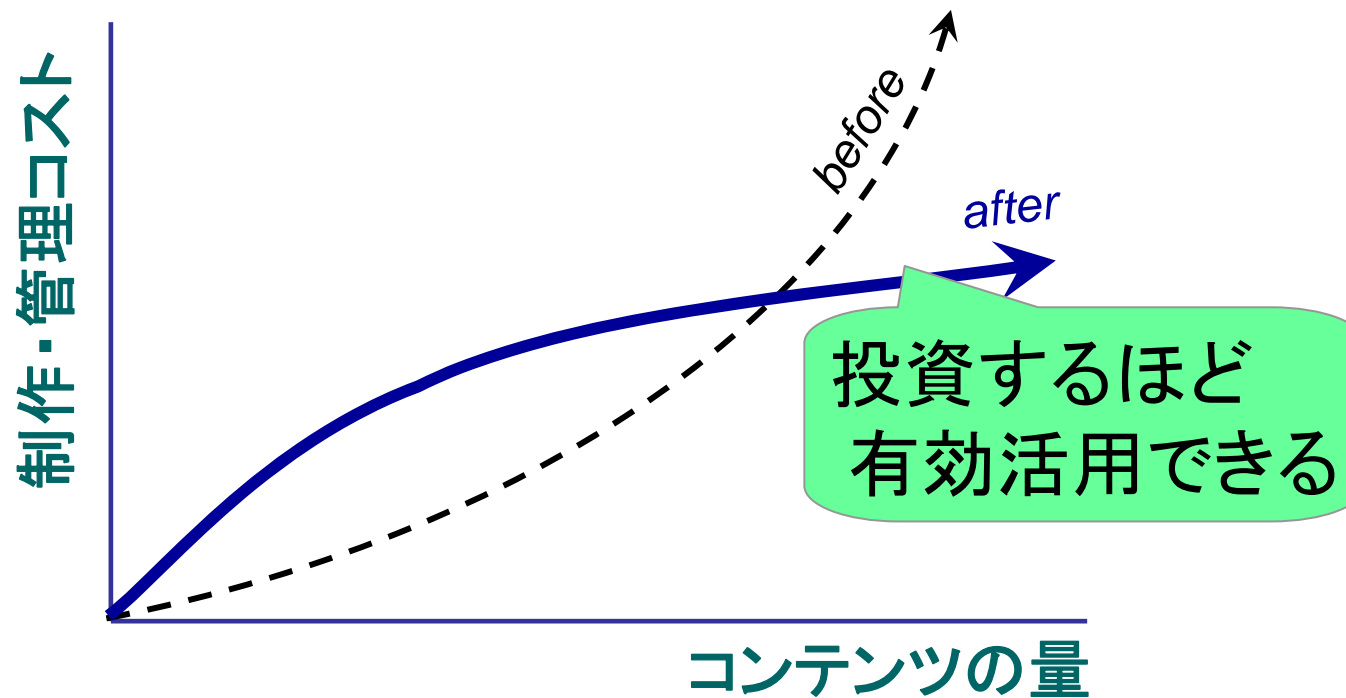
5. まとめ

そのためには

- **個人や組織の情報リテラシーを上げる必要がある**
 - CMS+IAの概念は身近な生活でも役に立つ
 - DITAは導入しなくても概念が参考になる
- **CMSなどのシステムを活用する**
 - 欲張らず少しずつ
 - 変化に耐えられる体制・システムを選ぶ
- **問題を見える化し、経営課題にする**
 - 生産性や誤植回数などをKPI(ROI)にする

5. まとめ

そして、貯めて勝つ



MdN Web STRATEGY

Web
STRATEGY

『実践的インフォメーションアーキテクト論』

<http://www.mdn.co.jp/content/blank/100/148/>

1. IAの成り立ちとタイプ分け
2. 架空プロジェクトでIAの活動内容を理解する
3. 情報の整理とは
4. IA設計の逆流アプローチ ★
5. ワイヤフレームもコンテンツ管理を ★
6. 捨てられないスタイルガイドとは
7. IAは救世主？

ロフトワーク WebEXP.jp



『CMSとIAーデジタル時代を生き抜く情報整理術』

1. CMSとIAの接点:溢れる情報を整理しよう

http://www.webexp.jp/feature/200811/20081125_cmsia1.html

2. コンテンツ管理の本質:リポジトリとは ★

http://www.webexp.jp/feature/200902/20090203_cmsia2_1.html

3. 音楽ファイル(MP3)をCMS流に管理しよう ★

http://www.webexp.jp/feature/200906/20090627_cmsia3_1.html

MdN Web STRATEGY



『実践CMS導入・運用ガイド』

<http://www.mdn.co.jp/content/blank/101/149/>

1. CMSの要件は何を定義すべき？
2. ツールの評価から運用上の問題点を見極めよう
3. CMSで解決できる分類・ナビゲーションの課題とは
4. ドキュメント管理で生産性をUP★
5. ワークフローの本当の意義とは
6. 資産としてのテンプレート★
7. 複雑化するサイト配信
8. DAMとCMSでシングルソースを実現★
9. コンテンツ移行をスムーズに進めるためのプランニング★
10. 使いやすさの最先端？気になる3種類のCMSをレビュー
11. SOA流のCMS連携術★
12. ECMの本命？ようやく動き出したOracleのCMSを徹底レビュー
13. CMSの真価はコンテンツの構造化にあり★
14. マーケティングを加速するCMS

Web担当者Forum



『ステップ式！CMS活用はじめの一步』

<http://web-tan.forum.impressrd.jp/l/2499>

1. コンテンツの理解から始める導入準備
2. 4つのステップで進めるCMSの情報収集 ★
3. CMS導入の提案を社内を通すための7つの説得手法
4. RFPでは失敗する？ CMSをうまく選ぶためのチェックリスト ★
5. CMSの可能性を最大化するためのWeb担当者の心得
6. CMS導入でのコンテンツ移行を成功させるポイント ★
7. CMS導入はゴールではなくスタート、その「運用」の秘訣とは ★
8. CMSのROIを体感しよう

『Webのレビューに便利なオンライン付箋ツール』

<http://web-tan.forum.impressrd.jp/e/2009/02/20/4875>

実践CMS★IA

<http://www.cms-ia.info>

- CMSブログ
- 実践プロジェクト
- 講演資料
- こどもIA日記(準備中)



実践CMS*IA

CMSとIAを活用したWeb最適化の実践メモ

メニュー

- ▶ CMSメモ
- ▶ CMSブログ
- ▶ CMSツール徹底比較
- ▶ 進行中プロジェクト
- ▶ 執筆・講演活動
- ▶ このサイトについて

サイト内を検索する

検索

注目キーワード

SEO CMS業界 Event
SaaS CusbyCMS
GoogleAnalytics Drupal
Navigation Wetpaint
DesignTemplate
binooCMS GoogleSites

CMS IA
Webnode Analytics
DITA

Ads by Google

Webマーケティング必見

CMSブログ

DITAを手短に学べる現状ベストなPDF本

2009-08-27 16:41
DITAがよく分からない、という声をよく耳にするので、オススメ本を紹介しておきます。DITA 101 by Ann Rockley
<http://www.lulu.com/content/paperback-book/dita-101/7174180> 良い点 技術解説ではない 短い 安い(10ドル弱) ...

Webnodeのレビュー記事がCMS Wireに

2009-08-22 15:25
当サイトが採用した、ホスティング(レンタルサーバー)付きの超簡単CMSであるWebnodeのレビュー記事が、CMS Wireに掲載されました。Webnode Does Simple CMS, Offers Web E-mail and Analytics ポイントは シンプルなCMS(ドラッグ&ドロップでサイトを構築できるツール)は最近増えているWebnodeはチェコのWeb...

お知らせ

DESIGN IT! Forum 2009に出演します

2009-07-26 16:25
8月27~28日に開催される『DESIGN IT! Forum 2009』に出演します。今回のタイトルは『企業情報の構造改革-DITA-XML-CMSによるコンテンツマネジメント戦略』。下記のような内容をお話します。誰もが大量の情報を受信・編集・送信するIT時代にも関わらず、ハコとしての「テクノロジー」のみが注目され、自身の「情報」に関する扱い方が語られる...

サイトを公開しました

2009-07-26 16:00
このサイト「実践CMS★IA」を公開しました。会社での仕事は細かいことを公開できないので、このサイトでいろいろな実践の詳細やふかったことなどを公開して...

ご清聴ありがとうございました。

資料は  slideshare
Present Yourself

にアップします

<http://www.slideshare.net/mak00s/>